

地域活動

中部地区社協

ふれあい餅つき事業

昭和59年より社協にて事業決定され、平成4年から取り組んできたおせちを12月30日地区内在住満75歳以上単身独居希望者へ（古くは各町女性部で作製）配布をして参りました。事業に併せ前日29日餅つきを行い、おせちに添えると共に参加者で豚汁とお餅で懇談の機会を持っています。（文責 林真一郎）



このまちにこの人 NO.7

『みすゞ百景』を発刊して

金子みすゞは26才の若さでなくなるまでに512編もの詩を残し、季節ごとの詩の紹介と、唐戸を中心とした下関の町の紹介を兼ねて「みすゞ百景」を作りました。フリーペー

パーとして、配布していますので、手に取ってご覧下されば幸いです。

発行責任者 末光 康治

(唐戸商事株式会社代表)

お問合先／090-1331-7397



顧問ペンリレー

中東地区まちづくり協議会によせて



坂本はるみ

令和元年に初めて、まちづくり協議会を知り、地域の方々が地元のために積極的に活動されているのを知りました。「北浦街道まち歩きお宝さがし」に参加させて頂いた時は、生まれ育ったこの町にこんなにたくさんのお宝があるのかと、驚かされました。「親子でタウンウォッキング」では、他市から転居されてこられた若いお母さんがベビーカーを押しながら、とても熱心に協議会の方のガイドを聴いておられたことがとても印象に残っています。

新型コロナウイルス感染症が拡大し、2年が経とうとしています。大人だけでなく、こども達もあらゆる面で我慢を強いられています。そのような中でも、本協議会の皆様は、行事を中止するのではなく、どうしたらできるのかに尽力されてきました。密を配慮し

ての「わらび座の講演」は、子どもたちに生のミュージカルの感動を与えていただいたと思います。

コロナ禍で、多くの人たちがペットボトルツリーの明かりに癒されました。明かりの先には、それを一年がかりで準備をして下さるまちづくり協議会の方々の顔が浮かびます。

「ダイヤモンドはとても硬く、ダイヤモンドでしか磨けない」と言われます。人間も同じだと思います。どんなにデジタル化が進んでも人間は人と人が直接関わりあって、成長できるのだと思います。こども食堂「縁」もスタートしました。こどもたちが、素敵な大人と「縁」を通して、心も身体も豊かに成長できるように、そして、もっと多くの地域の方々に参加していただけるように私も頑張りたいと思います。

スタンプラリーを終えて

開催期間

8月1日～11月30日まで

安田 和夫



まちづくり政策課の新企画で、しもまちアプリを使い、全市のまち協が設定したポイントを廻り、制覇した人に缶バッヂや賞品を進呈するイベントを実施しました。コロナ禍の中、皆で

集まるイベントは制限されました。家族や友人と少人数で外気をいっぱい吸って、知らなかつた地域のお宝を廻り、スタンプをゲットする試みは大成功でした。8~11月の開催期

間で、各地区達成者数・延4292人（内・中東地区289人）15地区達成者はなんと122人でした。

参加者からは、「初めて行く場所が多くて新鮮だった」「日和山の景色がとてもきれいだった」「楽しいです。この企画をしてくれた人に感謝」「潮風を浴びながら気持ちよく散策出来ました」などお声を頂きました。

反省点としては、ラリーポイントの設定で、スマホでゲットが難しかった所があった事です。今回の経験を活かして、次年度もより良い形で実施したいと思います。